

西新宿七丁目町会

青年部ニュース

No.4

ごあいさつ

部長 石川 慶太郎

任期を迎えて一言御挨拶を申し上げます。月日のたつのも早いものです。町会青年部が結成以来満二年の月日が流れました。過ぎた月日を振り返って見まして、これといった事業も出来ず、又在任中は何か実績をあげたいと考えましたが、ツイうかうかと月日を過して、何ら御期待に添うことの出来なかつたことは、誠に汗顔の至りでございます。たゞ青年部が結成した事は、大変喜ばしいことであります。青年部の結成以前は、どこの人か近くに住んでいても、顔も

名前も知らなかつた方々。今はオーイと呼べば、オーと答えるようになった。純真な心で語り合うある時はビールや酒を呑み、いいたい事を云い意見を出して、青年部の親睦と融和が生れた。部の前進もなごやかに、愉快に運ばれた。

私としても、よき人生の修業の場を与えられたことを喜んでおる次第であります。皆さまの温かい御協力を賜り、二ヶ年間の任期を無事終らせて頂き深く感謝申上げる共に、青年部が永遠に栄えますよう祈り上げます。

※清掃事業に

多数参加

町内から感謝

される青年部

去る五月二十日(日)

町会美化部主催の清掃作業に協力しました。

午前七時、全員緑屋ウラに集合、一斉に作業開始、国電高架線の土手等皆サンゴ存知の予想以上に汚ないゴミで大変な悪臭でした。

我が青年部から十六名の多数が参加、二時間余の悪戦苦斗の末、全作業が終了、町会長サンはじめ皆さんに喜ばれました。

九時大成功裡に散会。

◎参加協力して戴いた部員の方々に紙上より厚く御礼申し上げます。

御苦勞様でした。

(笹生)

☆青年部員に年令制限を

ひくや／いなや／

去る八月定例役員会に

おいて、石川部長より部員の年令制限を決めたらとの提案があつた。

役員会では結論は出されなかつたが、次の意見があつた。

1. 年令制限必要なし

2. 年令制限必要

A 四十五才迄

B 四十才迄

C 昭和生れ迄

解説

この問題は結成時にも論議されたが、部の運営が成立ないと云う事で当時は制限を設けなかつた。今回も人情的には設けたくない。しかし無制限により、働きざかりが皆青年部に留ると町会に手が足りない。親子共々の繁栄方法は如何？

☆異動のおしらせ

過去二年間、会計係としてご尽力をいたゞきました4B塚越泰三氏が今度都合により埼玉県春日部市へ引越しをされることになりました。

九月の残任期間は副会計の、4B中村隆一氏が会計をつぎ、また副会計には、1B小林正典氏が担当することになりました。

☆ラジオ体操

指導員さま

町会厚生部長の鷺谷さんから要請がありましたので、早速、役員会において協議したところ、左記の部員が指導員に選出されました。

6B 赤塚 盟治様
以上

☆夏休みラジオ体操

に協力

夏期ラジオ体操も二回目を迎えました。今年は私個人身体をこわしたり色々な問題が重なり、昨年の様に終始一貫して打込めなかった事を悔いています。しかし鷺谷さん塚越さん、石川君、赤塚盟治君等が、壇上にて最後迄がんばって下さいました。都心に住んでいる私達にとって毎日の早起きは大変な事です。

八月二十日で一応一ヶ月の期間を終え、関係者の方達はホットしたのが実感ではないでしょうか。其の後、町会長さんを含めての反省会では来年は三十分ずらしたらとの案も出しました。

6B 深野 一彦

☆入部、退部のお知らせ

入部	
3B	杉山 朗
5B	岩田 和夫
5B	栗原 幹子
8B	豊永 文夫
9B	森田 正広
4B	小串喜代子
3B	長谷川欣男
4B	伊藤 晴雄
4B	上村 隆明
九名	
退部	
5B	鷺谷 儀正
2B	森 利彦
6B	滝 武彦
6B	高橋 敏也
2B	松村 幸一
4B	山名 正
5B	岩田 和夫
7B	山本 和夫
4B	中野より子
4B	西沢 ケイ
5B	池田 祐介
十一名	

☆部員数と年令表

年令	部員数
大正	5名
昭和21年	6名
昭和22年	5名
昭和23年	9名
昭和24年	7名
昭和25年	11名
昭和26年	8名
昭和27年	11名
昭和28年	12名
昭和29年	11名
昭和30年	12名
昭和31年	11名
昭和32年	8名
昭和33年	5名
昭和34年	3名

(年令不明は除く)
青年部に年令制限をもつて、参考のためおしらせました。制限なく永遠に青年でありたいと皆んなが願っている。
表を見ると三十才から四十才迄が過半数である。実質は壮年部である。

6ブロック幹事

石川明宏氏突然逝去
去る九月十五日午後八時四十五分、石川明宏幹事は、急性心不全のため、自宅において急逝されました。

部員一同、こゝに生前のご友情を感謝致し、心から哀悼の意を表す次第であります。
石川明宏氏は、青年部役員のほか、ラジオ体操の指導員、旅行会の世話人として、青年部内外にわたって、ご活躍をいただきました。その雄姿はすでになく、謹しんでご冥福をお祈り致します。合掌
猶この欄以外は氏の生前中ゲラが出来て居りそのまゝ印刷しました。氏の原稿は七月に頂いた一部で遺稿となりました。

☆☆☆ 寄稿

新宿区名

由来のものがたり

江戸に幕府が開かれた翌年の慶長九年(一六〇四)、日本橋を起点とした五街道

東海道

中仙道

日光街道

奥州街道

甲州街道

が定められ、各街道に一定数の宿場がおかれ、馬や人夫が常備されていた。
その一つである甲州街道は、日本橋と甲府を結んだ街道である。
甲府からは中仙道で下諏訪に連絡していた。しかし甲州街道には、

☆☆☆

5B 笹生 栄一

日本橋から最初の宿場の高井戸宿まで四里二丁(約十六キロ)の長い道のりの間に休息する所がなく旅人が難儀していた。このため元禄十一年(一六九八)名主の願いにより、そのほゞ中間にあたる場所に内藤新宿と呼ばれる新しい宿場が設けられたのです。
江戸開府以来九四年も経つてのことです。
この宿場は内藤弥三郎清成(大和守)信濃国高遠藩主が幕府に返上した敷地内にあったことと、寛永の頃(一六二四〜四四)から太宗寺附近に

あった内藤宿に対する新しい宿場という意味から、内藤新宿と呼ばれるようになったのです。

これが、現在の新宿の地名の起こりで、昭和二十二年(一九四七)三月十五日、旧四谷、牛込、淀橋の三区を統一して発足した、新しい区の区名として採用されたものです。

東海道の品川宿、奥州街道の千住宿、中仙道の板橋宿と共に江戸四宿の一つとして発展の道を進んで来たのです。
それが現在の新宿であり、世界に羽ばたく新宿として発展してゆくことでしょう。
新宿区名由来の一席おひらきで御座います。

以上
笹生洋服店

「味」

こう書く人それぞれ
の経験、健康状態から色
々と連想する内容が違っ
て来ると思っています。

甘さの辛さの、舌ざわ
りの感触等色々あると考
えられます。

又別の云い方をすれば
「味」とは、食物の個性
であり生命であるとか、
又人々の趣好に依って左
右される不確定要素だと
か、非常に判定するのに
困難な事が多いと思いま
す。自然の味、作られる
味、味の持つ意味を利用
しての文学的表現等の中
で少し最後の頃で感んじ
た事を書かせてもらいま
す。

自然の味、個性のある
味、その中で海に住む魚

3 B 鈴木昭吉

の味、ごく当り前の話で
すが海の塩辛さに染る事
なく鯛は鯛の味があり、
「さんま」には「さんま」
の持味があります。
生命ある者は自分の個
性と特徴を生かして生き
て居ります。

私達も社会と云う海の中
で生活が続けて居りま
すが、果して自分の持味
を個性を生かしているか
と云うと私などは、はづ
かしいばかりです。
味わいのある人生、生
活と思うのみで虹の如く
はかない標題です。
しかし味を重要視し、
改良、向上に苦心してい
るのは日本人の特徴だと思
います。
四季の変化に豊み、地

列車名の由来

故人

6 B

石川明宏氏

その二 新幹線こだま
昭和三十三年十一月、
日本に鉄道が出来て以来
初めて、表定速度が八十
KMをこえる特急として
登場し、横浜、名古屋、
京都しか停らないと云う
当時としては、それこそ
破天荒の特急に奉られた
のが、この「こだま」な
る愛称である。
それまでの最高速特急
「つばめ」「はと」では

中には求められぬ者があ
ります。と云っても豆腐
やの「オヤジ」竹馬にの
って背のびして書いても
とても危ぶなく見て居ら
れぬと笑われぬ中に降
ろさせてもらいます。
鈴木豆腐店

何しても実現出来なかつ
た東京大阪間の日帰り
旅行が可能となった。
この愛称は同年五月、
一般募集から選ばれた。
その時の応募総数が何と
九二八六四通、とにかく
その熱狂的応募ぶりも、
愛称史上未曾有の出来事
であった。
こうして超特急「こだ
ま」は生れたのです。
石川塗装店

(7) 1973年9月

町会青年部ニュース 164

☆モシモシ同好会デス☆
旅行会より

青年部旅行同好会も、
今回で二回目を迎えます。
今度は、来る十一月に
紅葉の燃える箱根路へ楽
しい一泊旅行をすること
になりました。
部員の皆様、多数の
参加をお待ち致して居り
ます。
なお、参加希望の方は
各ブロックの幹事、また
は、7 B 近藤 隆二
三六一 三二五一
までご連絡下さい。
以上
「注」旅行会は、近藤さ
んと、6 B 石川明宏さ
んが、お世話人となって
毎月の積立金やら、旅行
の計画等をお願いして居
ります。一時私の参加も
出来ます。

きらくに

書こう

ひとことを

☆会計補佐として、
塚越主計の一助として、
無事二年の永きに渡る重
責を、務めさせて頂き、
ましたことは、ひとえに、
青年部員皆様の、暖かい御
理解と、塚越さんの技量
に負う事の大小、つくづ
く思います。
塚越さん有難うござい
ます。これから、次の
会計さんの為にも是非適
切かつ、明瞭な御指導、
アドバイスをお願い致し
ます。
つくづく
かげの力の
しんじつ悟る
いざよいの月
4 B 中村 隆一

☆塚越君との惜別

我が友 塚越君、家庭
の事情とは云え、我が青
年部から別れてゆく気持
を察し感傷的になる自分
自身の気持をどうするこ
とも出来ない。青年部が
皆の協力で、これまでに
成長した今、当初から会
計と云う大任を立派に果
して来た 君、
これから先いつまでも
君と共に歩んで行きたか
った。残念だ。
新天地に移っても我々
を忘れずにどうか我々と
共に将来に向って進んで
ゆこう。
終りに新しい土地での
君の活躍を心からお祈り
する。
我が友よ元気で
また一パイやろう
5 B 笹生 栄一

☆私の場合は、編集委員

などと呼ぶのはおこがま
しい程、何もできない委
員でした。
編集するといふよりも変
なところに集まってるの
だけの「変集」委員と呼
ぶのがふさわしかったの
かも知れません。
何もせぬ
うちに二つも
年をとる
3 B 尾沢 孝宜
☆何でも長は責任が重い
ものだ。石川部長もリク
レーションばかりでなく
外に事業もやろうという
ご意見をされる。役員会
でも色々案は出るが実
行されたことがない。
職種のちがいが。年令の
差、町内とはいえ地域の
ちがいが妨げとなってい
るようだ。世の中は、
うまくいかないものだネ

編集

後記

☆今月で任期満了だとい
う。青年部結成以来早や
二ヶ年である。

☆高い部費をただ頂いて
は申訳けない。部の活躍
？を参加出来ない部員に
御報告しよう、ご理解願
おうが、発刊の理由だっ
た。

☆はじめに石川部長から
総務部で発行せよと指示
があった時は、果して出
せるかどうか困惑した。

☆ところが出た
青年部には不思議なほ
ど熱心な人材が沢山いた
のだ。

☆ニュースの発行などし
て、読んで頂けるものや
ら、甚々おぼつかない。
☆自賛ではないが発行す
る迄の苦心は、編集部員
でなければ解らない。

全く好きでなくては出
来ないことだ。

☆とかく尻切トンボで終
る行事も、紙上で経過を
報告し、一方的ではある
が、反省もし、意見も述
べ意義あるものとした功
績は大きい。

☆旅行、ボ大会、事業外
すべての会計報告が、一
つ一つ発表されたことも
ニュースのおかげか。

☆部長ほか役員の考えが
活字になり、青年部の末
端にしみわたり、部員相
互の理解に役立ったこと
はうれしい。

☆寄稿欄には各位のご意
見、感想、趣味など多く
の原稿が集った。

色々と話題は尽きない。
☆ニュースの発行は、P
Rにも一役かった。七丁

目町会に青年部あり。

「百聞は一見にしかず」
で、町会以外の町で青年
部が評判になった。

☆青年部あつてのニュー
スだが、青年部結成に関
する記事がのらなかった。

青年部がお産する迄の

現部長の苦労は大変だっ
た。部長のごあいさつの
中に「よき人生の修業の
場を与えられた」とある
が、陣痛の苦しみを思い
出している文であろう。

☆部長ほか役員の努力、
部員の協力により青年部
は盛上った。

☆習いごとのお師匠さん
いわく、何でも半年続け
ば、一年はもつ。一年続
けば、二年はもつと。青

青年部は、あと四年間は
大丈夫、タイコバンだ。

☆十月は新たな出発点だ。
新役員により順調なす
べりだしとなろう。ニュ
ースも続けてもらいたい
と願う。

☆暑さにつけ、寒さにつ
け、編集部員のご協力は
悩裏から消えることはな
い。多忙な一日を終えて
のち夜半過ぎ迄かかって、
原稿の割付をすませた時
など、部員の目は疲れて、
皆かすんでいました。

荒井 保次、尾沢 孝宜
小林 正典、笹生 栄一
塚越 泰三、中村 隆一
各氏、本当にご苦労さま
でした。

発行 西新宿七丁目町会青年部
編集 同 青年部総務部